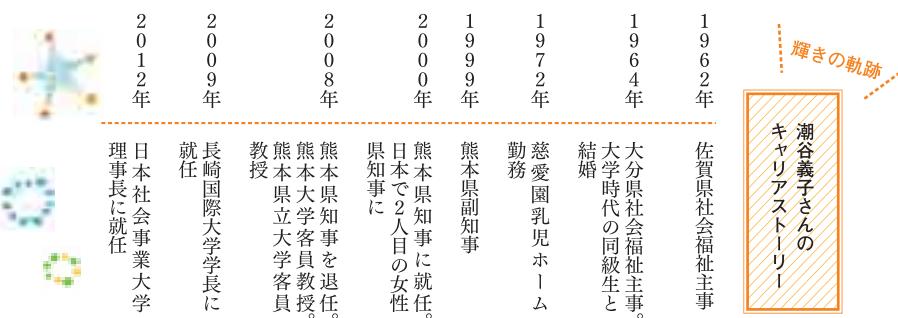




皆、世の中の構成員として  
平等に活動できる社会づくりを  
シユバイツアーハ私の原点！

学校法人日本社会事業大学  
東京都清瀬市竹丘3-1-30  
TEL: 042-496-3000  
URL: <http://www.jcsu.ac.jp>



### PROFILE

1939年佐賀県生まれ。日本社会事業大学社会福祉学部卒業。3人の息子はおのの独立。現在、熊本市社会福祉協議会会長。

取材担当  
熊本大学3年  
砂岳佳菜恵

#### 一社会福祉を志したのはなぜですか。

潮谷 宗教家であり、医者でもあったアルベルト・シュバイトナーへの憧れからです。中学時代、英語の先生から聞いた彼の話に興味を持ち、黒人のために自分を捧げる姿に胸を打たれました。この憧れが、進路として社会福祉の道につながり、それ以来ずっと私のライフワークです。

#### 一熊本で初の女性県知事を務められました。出馬の経緯は？

潮谷 女性が政策方針決定の場に出ることはすごく大事という思いがあったからです。熊本の女性たちの支援も大きかったですね。熊本出身ではない上に資金が少なく、最初にお話を頂いた時は「絶対出ない」と逃げ回っていたんです(笑)。しかし出馬の可能性を知った女性らによつていくつもの支援団体が立ち上がり…。その気持ちに応えたい一心で、出馬・当選することができました。

#### 一知事在職中、福祉の経験はどう生かされましたか。

潮谷 福祉を通して「当事者こそを中心」ということを学びました。男性も女性も、障がいがあっても高齢でも皆、同様に「熊本県民」。そんな県民中心の政策を進めることができました。例えば「ユニバーサルデザイン」を県

の基本政策に置き、その考えが熊本で定着したのもこの時期です。私が目標として掲げていたのが、「人間として」男女が平等に、義務や責任を持つ社会づくり。「どのような立場に置かれている人も、平等に社会の構成員として見る」という視点は、まさに社会福祉の現場で学んだことです。

#### 一女子学生には、どのような姿勢で社会に出ていってほしいですか。

潮谷 今の女子学生は、社会に出てキャリアを築きたい人と、親が共働きで大変そうだったから主婦になりたい人と、二極化しているようです。後者は特に、共働きが大変な根本的な理由を見つめることが大切。子育てや家事は、生きる上で意味合いの深いことです。それを「男女ともに経験することが大事」という発想を持って、世の中に出てほしいですね。

くよくよしていたらチャレンジはできません!!  
私の場合、のん気な性格が長所なのかも?

106 クマモト・ウーマン

クマモト・ウーマン 107